

## 地盤工学会では会長特別委員会を組織

### 斜面WG 堤防WG ため池WG の設置

#### 豪雨地盤災害に対するそれぞれの

##### ①地盤工学の課題の整理、②解決法

について検討し、社会に向けた提言をする。

会長特別委員会で扱うべきそれぞれの課題について、フロアを交えて議論をする。

### 斜面WG 鈴木素之（山口大学）

- ①斜面災害の状況のまとめ ②崩壊と降水量の関係の解析
- ③崩壊地の地形・地質条件の検討 ⑤過去の豪雨災害との比較
- ④土砂被害の形態の整理と発生メカニズムの解明
  - ・土石流と洪水が一体となって流下した（“土砂・洪水氾濫”）。
  - ・土砂が停止・堆積せずに流出が継続した。
    - いったん堆積した土砂が再流出した？
  - ・土砂が河道を閉塞し、洪水氾濫を助長（天応地区の事例）。
  - ・大量の土砂が発生し、またコアストーンが被害を大きくした。
    - 地山の風化程度はどうだったか？ コアストーンの分布、存在形態、風化度の把握はできるのか？
  - ・土石流が家屋だけでなく、インフラ（道路、ため池）に被害を与えた。また、道路を介して土砂・水が流下し、被害が拡大した。→ H21 防府災害の R262 でも同事例。検討が必要。

### 斜面WG 鈴木素之（山口大学）

#### ④ 土砂被害の形態の整理と発生メカニズムの解明(その2)

- ・想定以上の土砂量の発生。→複数の支流から土砂が流入。降雨の長時間継続により、側岸の侵食・削剥が大きくなった？
- ・河川沿いの県道、鉄道において洗堀、吸出しに伴う地盤陥没がみられた。→対策検討の必要性あり。

#### 社会への提言

- ・避難、情報共有の在り方。今回はどうだったか？
- ・斜面災害は危険箇所から離脱すれば命は助かる率が高いが、今回はどうか。
  - ・土地利用に関して、危険箇所に近い居住について、どう考えるか。移転が困難であれば、少なくともリスクの周知・理解は必要。
  - ・全国レベルで災異誌の編纂 →専門家だけでなく住民が参加する形は？ 学会がリードしては？

### 堤防WG 前田健一（名古屋工業大学）

#### WGでまとめる方向性・ポイントについて

- ① 各被災箇所、被災形態や変状の進展状況の整理
- ② 現象の解釈：被災箇所だけでなく非被災箇所についてもどのように解釈可能か
- ③ 災害の教訓と今後の課題とその解決に向けて必要なこと
  - ・今後の予測・対策に関する課題
  - ・今回の災害の教訓
  - ・地盤工学（会）として何が貢献できたのか、  
貢献できるのかの整理
  - ・「同じ災害を起こさない、被災箇所の周辺で同様の災害を起こさない」ことを目標に、今後も起こりうる豪雨への耐性をつけるため、どのような情報を残すかべきか

## 堤防WG 前田健一（名古屋工業大学）

### ② 現象の解釈：被災箇所だけでなく非被災箇所についても どのように解釈可能か

- ・ 地盤工学、河川工学などの視点から今回の被災・非被災箇所はどのように解釈されるか。従来の解釈で理解・説明できるのか、それとも異なるのか
- ・ 今回のような豪雨（時間雨量や総雨量）だからこそ発生した現象はあったのかどうか
- ・ 従来の雨ではなく、なぜ今回の豪雨で被災したのか被災していないのか

#### 学会提言の検証

過去の甚大な災害における学会提言のポイント整理  
提言に沿って実施された内容の有効性  
提言内容のフォローアップ

## ため池WG 毛利栄征（茨城大学）

### ため池 WG のミッション（案）

豪雨によるため池災害を対象として、その被災のメカニズムや調査、診断、安全性評価、対策技術に至る広範な事項について、地盤工学上の課題を整理し、学術研究と技術開発の方向性や社会実装の観点からの提言を目指す。

#### 具体的な議論の項目

- ・ 過去の豪雨災害の特徴
- ・ ため池の豪雨災害パターン
- ・ 堤体の被災のメカニズム  
すべり破壊、越流破壊、侵透破壊、複合破壊
- ・ 調査・診断方法      ・ 対策技術

## ため池WG 毛利栄征（茨城大学）

### ため池に至る流域管理とため池の役割、重要性について

- ① ため池の減災機能の確認
- ② 貯水による土石流の減勢効果
- ③ 流木が流入するため池と土石が流入するため池の管理・減災のために必要な付帯施設とは
- ④ 地域全体の減災を進めるためのため池の役割と必要な機能

#### 具体的な提言

流域管理を視野に入れた上で、ため池堤体の減災機能を向上するための技術開発や意識改革の方向性を提示するとともに、地域活動との連携による総合的防災システムの構築などに展開できるシナリオも意識して提言をまとめる